

第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)に対する御意見と県の考え方について

1 意見募集期間

令和6年11月25日(月)～12月24日(火)

2 意見の提出者数及び意見件数

5件(1人)

(内訳)

区分	人数	意見件数
郵送	1	5
FAX	0	0
電子メール	0	0
合計	1	5

3 御意見及び反映状況

区分	意見件数
A:意見を反映し、案を修正したもの	0
B:すでに案で対応済みなもの	1
C:案の修正はしないが、実施段階で参考とするもの	2
D:意見を反映できなかったもの	2
E:その他	0
合計	5

番号	戦略(素案)該当ページ	御意見の内容	意見数	県の考え方	反映状況
1	-	駅前のロータリーについて、車の発着や待ち合わせなどの使い勝手が悪かったり、路上駐停車が多かったりする場所があるため、環境整備を行うこと。	1	駅前ロータリーの整備については市町村が所管しておりますが、利用者の利便性を踏まえた整備が実施されるよう、県として市町村に技術的助言などを実施しております。また、警察においては、利用者が安全に通行できるよう必要な指導取締りを行ってまいります。	D
2	-	循環バス及びタクシーのドライバーや配達ドライバーの労働環境を整備すること。 埼玉県の地域創生と同時に日本全体の労働環境を整えること。	1	県では、柔軟な働き方や長時間労働の是正に取り組む企業を支援し、働き方改革を推進するなど、労働環境の整備に取り組んでおります。「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」においても、今年度、新たに「人手不足対策分科会」を設置し、産・官・学・金・労が連携して検討を進めており、特に、2024年問題などにより人手不足が深刻な物流の分野については、消費者に向けた取組として「宅配を1回で受け取ろうキャンペーン」を展開するなど、配達ドライバーなどの労働環境の整備に取り組んでおります。	B
3	-	政治家の選挙の演説をもっと身近に感じるように駅だけではなく、学校などでも行うこと。	1	県選挙管理委員会では若者に選挙を身近に感じていただけるよう、学校などで選挙啓発出前講座を実施したり、小・中学生向けの啓発資料を配布したりするなど、啓発活動に取り組んでおります。	D
4	-	若い人が自分の足で知らぬ土地や町に繰り広げて様々な出会いを大事にすべきであり、市町村が安い車を提供するシステムがあっても良い気がする。 生活保護受給者に対して車を持つのは贅沢というシステムも変えていくべきではないか。移動の自由をどんな人にも与えていくべきではないか。	1	御提案いただいた事業については、各市町村が地域の実情に応じて、実施を判断することとなります。また、生活保護受給者につきましては、障害者の通院や交通不便地の通勤のために必要であると福祉事務所が認めた場合に、車の保有が認められる場合もございます。車の保有が認められていない場合でも、通院交通費の実費などを支給しております。今後とも、誰もが快適でくらしやすいまちづくりに向け、全ての人の日常生活を支える地域公共交通の確保やバリアフリー化を進めてまいります。	C
5	-	埼玉県とホンダでコラボの映像を撮ることができないか。 ホンダ自動車の工場は寄居町にあるので、埼玉県内の観光目的にて動画を撮りたい。	1	県内の観光資源の発掘や磨き上げについては、各地域において必要に応じて取り組んでおります。県内の民間企業や各市町村と連携しつつ、県としてプロモーションを展開し、観光誘客を図ってまいります。	C